

今しか
できないことが、
君を変えていく。



内閣府 【主催】内閣府

お問い合わせ 『地域高2留学』事務局
support@kouniryugaku.jp

サイトにアクセスして
説明会に参加してみよう！
<https://www.kouniryugaku.jp/>



住んで、触れて、学ぶ。

地域高2留学

2024 GUIDE BOOK

勉強も、青春も、将来も、
答えは、一つじゃないはずだ。
今の場所から飛び出して、
答えを探しにいてもいい。
自分の気持ちに向き合って、
答えをつくりにいてもいい。
君がまだ出会っていない世界は、
限りなく広い。知りたいことを学んで、
温かい人に出会って、新しい文化に触れる。
そんな体験のひとつひとつが、
かならず人生の糧になっていく。
しぼるものなんて、なにもない。
挑むことに、間違いなんてない。
だから、進もう。
君の行きたい方へ。
今しかできないことが、
君を変えていくから。

地域高2留学、
はじまる。

INDEX

メッセージ	P01
目次	P02
地域高2留学とは	P03
応募について&スケジュール	P04
地域高2留学体験談 3期生編	P05
地域高2留学体験談 2期生編	P07
地域高2留学体験談 4期生編	P08
留学先校紹介	P09
教えて! 地域高2留学	P15
地域高2留学Q&A	P16
地域高2留学の流れ	P17
在籍校関係者のみなさま向け資料	P18

ABOUT

地域高2留学とは

地域高2留学。それは高校2年生の1年間、あなたの行きたい地域を選んで学べる国内留学制度です。新しい土地だからこそ得られる、かけがえのない時間がそこにはある。高校生の今しかできない体験は、きっとあなたの将来を広げるきっかけになるから。さあ、あなたの意志で、新たな一歩を踏み出そう。



POINT 01

自主的な学校生活を送ることができる

留学先では在籍校より人数が少ないことがほとんどです。その分、人との関わりが深くなり、毎日の活動が自然と主体的になっていきます。

POINT 02

世代を超えた出会いがある

同級生だけではなく、地域で働く大人たちや、幅広い世代の地元の方々など、たくさんの人との絆が生まれます。

POINT 03

地域活動で多様性を知ることができる

どの地域も、地域と学校が連携した独自性のある教育活動を展開しています。「都会」に対する「地域」という言葉では括れない、地域の多様性を発見することができます。

APPLY

応募の際の注意点

「地域高2留学」に応募の際には、以下の点にご注意ください。詳細は「地域高2留学の流れ」(P17)でご確認ください。また、留学説明会でもご紹介します。

- 1 応募時に高校1年生であること(学年制ではない場合は、以下の「2」の条件を満たしていること)
- 2 1年間の地域留学を終えた後、在籍校で1年を過ごし、卒業すること
- 3 生徒が留学先校で履修した単位を、在籍校が認定すること
- 4 応募前に、在籍校と留学先校で留学可能である旨の確認が得られていること(特に教育課程上問題ないことが両校で確認できない場合、留学は実現しません)
- 5 他、各留学先校が定める応募条件を満たしていること(詳細は「地域高2留学」公式サイトで「応募・検査要項」をご確認ください)

留学検討から受け入れ決定までのスケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
事務局 留学先校	6/26(水) オンライン説明会	7/5(金) オンライン説明会 7/11(木) オンライン説明会 7/20(土) オンライン説明会 7/26(金) オンライン説明会	8/6(火) オンライン説明会 8/19(月) オンライン説明会	9/1(日) 合同学校説明会 @国立オリンピック 記念青少年 統合センター 9/10(火) オンライン説明会		11/11~11/22 検査期間 11/25 検査結果通知	12/2~12/6 繰り上げの場合の 検査結果通知
留学を 検討する 生徒 在籍校		STEP 01 興味をもったら事務局へメールで連絡 在籍校へも相談	STEP 02 在籍校の先生も含めて、留学先校の検討	STEP 03 留学先校への現地訪問の実施	10/28~11/8 応募期間	11/25 受け入れ可否 決定	STEP 04 応募する・ 検査を受ける

地域高2留学
体験談
3期生編
(現高校3年生)

#1



古川 菜湖さん
 在籍校 埼玉県立大宮中央高等学校
 留学先校 北海道幌加内高等学校



留学前の自分に一言

思い切ってやっちゃえ!



地域高2留学に挑戦したきっかけは?

きっかけは、中学生の頃コロナの影響で15~20人ほどの少人数制の授業を受けたとき、**生徒一人ひとりに対して向き合っている感覚がすごく楽しかった**んです。それで、高校は少人数のところに行ってみたくて思っていました。また、住宅街の中にある高校ではなく、自然にあふれた環境で生活してみたいとも思いました。単年で行ける制度があることを知り、地域高2留学にチャレンジしました。

なぜ幌加内高校を選んだの?

初めに興味を持ったきっかけは、候補先の中で一番生徒数が少なかったことです。もともと少人数制の授業を受けたこともあったので、まずはそうした数字で見える部分で興味を持ちました。学校のホームページなどを見てみると、校舎がきれいで町内に湖があるなど、総合的に魅力を感じ決めました。

留学先ではどんな生活を過ごしていましたか?

幌加内高校の特色として「そば打ち」の授業があるため、それについていくに必死でした。また、行事が多いことも魅力で、一つひとつに挑戦しているうちに、いつの間にか時間が経っていたという感覚があります。農業高校なので、農業の知識を競ったり、意見発表などの作文を書いて発表したりと楽しいイベントが多く、あっという間に時が過ぎていきました。

特に思い出に残ったイベントなどはありましたか?

必修の科目だった「そば打ち」で段位認定会があり、段位を取らなければならなかったので何度も練習を重ねたことです。みんなでそれぞれの目標に向かって頑張っていたので、準備の時間もとても楽しかったです。結果として最優秀賞をいただくことができたことも思い出に残っています。

4月	町長挨拶
5月	職場体験実習
6月	校内技術競技大会
7月	幌高夏の商店会
8月	幌加内新そば祭り
9月	幌高祭り

留学では、どのような学びを得ることができましたか?

本当にたくさんの学びがありました。大きな点では、これまでは高校に進学したら勉強して大学受験するためにずっと勉強をするというのが当たり前感覚だったんです。周りの環境がガラッと変わったおかげで、幌加内では3年生になっても学校行事を楽しめているので、**将来に対してもさまざまな考え方をしている人がいていいんだ!**と視野を広く持てるようになりました。

留学以前の自分と比べて何か変化はありましたか?

初めての体験をたくさんする中で、**一つの物事を成功させるための自分に合ったやり方を見つけられたような気がします。**たとえば、そば打ちで上手に打つのが最終の目的だとすると、同じことを続けるからこそ、数をこなすだけでなくゴールから逆算して必要な理解や内容を毎日書き出して見返していました。

「今しかできないことが、君を変えていく。」に通ずる活動はありましたか?

将来のキャリアを考えるプロジェクトに参加したとき、プロジェクトを利用された方や議員の方とお話をする機会がありました。これまでの人生では会うことが難しかった人たちに会えるきっかけを得たことが変わったなという点の一つです。

実際に体験したからこそ感じる「地域高2留学」の魅力とは?

私は、高校1年生のときにオンリーワンの高校生活を送りたいと思っていました。埼玉の学校も魅力的でしたが、留学先校は学業と部活の2つに力を入れる生徒が多いと感じ、それを楽しみながら2年生の1年間だけ広い世界を見ることができるとするのが魅力だと感じています。また、母校が2つになる、大切な帰れる場所が増えるというのも幸せなことだなと思います。

10月	幌高秋の商店会
11月	町政への提言
12月	見学旅行(台湾)
1月	—
2月	スキー授業
3月	ワカサギ釣り



留学前の自分に一言

間違っていない。
大当たりの選択だよ!



地域高2留学
体験談
3期生編
(現高校3年生)

#2



大城 爽一郎さん
 在籍校 沖縄県立首里東高等学校
 留学先校 山形県立小国高等学校

地域高2留学に挑戦したきっかけは?

地域高2留学を知ったきっかけは、学校で配布されたチラシでした。初めは海外留学かと思い英語に自信もないからなと思っていたのですが、よく見ると国内の地域留学だと知りました。そこで、普通に3年間同じ高校に通う以外の選択肢があることに興味を持ち、留学を検討し始めました。

なぜ小国高校を選んだの?

私の住む沖縄県は海がすぐそばにあるため、海に囲まれて生きてきました。せっかく環境を変えるなら、**まだ何も知らない、これまでの環境とは180度違った場所に行ってみよう**と思い、山に囲まれた小国高校に惹かれました。

留学先ではどんな生活を過ごしていましたか?

とにかく地域の人たちと関わる機会が多かったです。自分から何かアクションを起こさなくても声をかけてくれて、学校の空き地を畑にするために学校の周りに住んでいる人たちと耕しました。また、部活動もなかったので、バドミントンサークルやフットサルサークルのような地域の活動に参加するなど、地域の人の触れ合いに恵まれた日々でした。

特に思い出に残ったイベントなどはありましたか?

小国高校では「小規模校サミット」というイベントが2日間に渡って行われます。北は北海道から南は四国まで、全国各地から小規模校を集めて問題点や課題点、小規模校ならではの魅力についてディスカッションをすることが印象的でした。私も小国の生徒として参加するために地域の方々から小国の魅力を教わるなど勉強して臨みました。

4月	お花見
5月	山登り・ハイキング
6月	インターンシップ(自分は農家に行った)
7月	全国小規模校サミット
8月	夏休み・夏祭り・竹割ってそうめん
9月	神社のお祭り

留学を通じて学んだことはどんなことがありますか?

自分が当たり前と感じていた人の目や温かさを再確認できたことです。見守ってくれている大人がいるとか地域なりの風習なんかも、住んでいると当たり前感じていました。しかし、留学という環境を変える体験をしたことで、人とつながっていることや支えてもらっていることに改めて気づくことができたと感じています。

留学以前の自分と比べて何か変化はありましたか?

留学前に比べて、**積極的に自分からアクションを起こせるようになった**と感じます。復学した際も、自分はみんなと同じ思い出を経験してないと思ったのですが、逆に自分しか経験できなかったことがたくさんあるということが自信につながりました。留学中に声をかけてくれる嬉しさや温かさを感じたからこそ、今は自分からアクティブに声をかけたりできます。

留学は大学受験にも影響しましたか?

ももとは法律系の勉強がしたいと思っていました。特に県外に出るということも考えていなかったのですが、留学を経験したまま、地方やコミュニティといった社会学に興味を湧いてきて、県外への受験にチャレンジしてみようと考えてます。

実際に体験したからこそ感じる「地域高2留学」の魅力とは?

自分の知らない世界にいち早く行けるというのが一番の魅力だと思います。多くの方は高校までは地元の学校に通って大学で県外に出てみたり、留学を経験されると思うのですが、高校2年生のうちからまったく違う地域のことを知ることができるというのは、人生の大きな財産になります。

10月	みらたび参加・神社の稲刈り
11月	修学旅行
12月	小国フェス
1月	スキー授業(米沢スキー授業)
2月	みらキャリア(地域みらいキャリア)東京発表会・留学生活についての取材(内閣府)
3月	一年間の振り返り発表会

地域高2留学
体験談
2期生編
(現大学1年生)

#3



中西 陽琉さん
在籍校
成蹊高等学校(東京)
留学先校
高知県立嶺北高等学校



留学前の自分に一言

自分がワクワクすることに
素直になっていいんだよ!



地域高2留学に挑戦したきっかけは？

初めて知ったきっかけは、Instagramに流れてきた広告でした。そこでふと、今の環境は同じような価値観の人で集まって、考えが凝り固まってしまうのではないかと考えたんです。自分で自分のことを決めてみたい！という好奇心から留学に挑戦することを決めました。

なぜ嶺北高校を選んだの？

学生が自分たちで運営する「自治寮」という形態をとっていたのが最大の魅力でした。自分で主体的に動くことや、周りと協力することも大事で、自分のワクワクをそのまま体現できると思い嶺北高校を選びました。また、学校説明会なども生徒が主導するなどイメージがよかったことも後押しになりました。

留学先ではどんな生活を過ごしていましたか？

9月から寮長になったこともあり、寮内で過ごす生徒がより楽しく過ごせように尽力していました。毎日のように書類を作ってコーディネーターさんとすり合わせをしたり、寮のみんなまで参加・交流するイベントの企画や、ルールをきちんと明文化するプロジェクトなどを行ってきました。

特に思い出に残ったイベントなどはありましたか？

寮生の大運動会を企画したことです。初めは寮生だけでやろうと思っていたのですが、大人との関わりも大事にしたいという想いから寮関係者と寮生で大きな体育館を貸し切ったイベントにしました。2回目以降も続いてほしいと思い、寮長マニュアルを作ったので今も続いているとうれしいですね。寮でのルールを明文化しようと動いていたことも思い出に残っています。約30人の寮生の中には自治を行っていくモチベーションが高い生徒もいれば、そうでない生徒もいるので、その中で寮長として落としどころを模索するというのは難しくもありました。

【留学生活1年ハイライト】

4月	対話月間
5月	自治組織活動開始
6月	環境変化からの疲れがでる
7月	流しそうめん大会
8月	寮長就任
9月	嶺親さんとのBBQ

留学以前の自分と比べて何か変化はありましたか？

変化として感じたことは、周りの目が気にならなくなったことです。一般的に友達が多いほうがいいのか、成績は高いほうがいいのかといった常識のようなものがあると思いますが、自分はこういう理由でこれがしたいんだという因果関係をしっかり理解できるようになったことで、やりたいことが一般論とのギャップがあっても苦しまないようになったんです。

留学は大学受験にも影響しましたか？

中学の頃から政治学に興味を持っていたので、自治寮での経験や体験は政治をやっている感覚にもなり、一層興味が増えました。その中で、当初は在学校の付属大学に政治学科があったため受験は考えていなかったのですが、政治学と他に興味のある学問を絡めて勉強できないかなと思い他大学への受験も検討するようになりました。

実際に体験したからこそ感じる「地域高2留学」の魅力とは？

誤解を恐れず言うと、ただ留学を経験したというだけでは、目に見えるほどの大きな変化はないと思っています。でも、「本当は分からないけど、ここちょっと成長してるかも」と思えることはたくさんあるはず。なので、大切なことは留学を終えた後も、この“分からない”ということに向き合い続け、考えることを楽しめるようになるのが留学の魅力かなと感じています。

いま、「地域高2留学」を考えている生徒に伝えたいことはありますか？

自分たちで作っていく楽しみや留学を終えてからもイベントのお手伝いと呼ばれたり人と関わる機会がたくさんあります。なので、自分のやりたいことを見つけられたり、やりたいことが見つからないのはなぜだろうと突き詰めることもできます。また、これまで用意されていた道から“外れてみる”ことで、これまで見えていなかったたくさんの新しい景色や不安に出会うことは、自分を成長させてくれるきっかけになると考えています。

10月	寮会議改革
11月	大運動会企画
12月	家族と高知観光
1月	ルール明文化プロジェクト
2月	3年生との別れ
3月	卒業旅行

留学前の自分に一言

本当にすごく楽しいから、
安心して行ってきたな!



地域高2留学に挑戦したきっかけは？

地域高2留学を知ったのは高校1年生の6月、学校で配られたチラシや校舎に貼られていたポスターがきっかけでした。通っていた学校に大きな不満はありませんでしたが、高層ビルに囲まれている閉塞感や、通学も片道1時間かかる日々を過ごす私にとって、ポスターに映る自然あふれる環境はとても魅力的でした。調べていくうち高校の1年間を地方で過ごせるということにどんどん興味が湧いて、気づいたらチャレンジしていました!

なぜ斜里高校を選んだの？

通っていた高校が総合高校だったので、まずは復学することも考えて総合高校の中から選びました。その中で斜里高校を選んだ大きなきっかけは8月の学校説明会です。乗馬体験や流氷ウォーク、知床の森作り活動など、ここでしかできないことが思いっきりできそうだったことで気持ちが固まりました。

留学先ではどんな生活を過ごしていますか？

まず、大きな変化は学校まで自転車です。2分で着くことです(笑)! 学校では、空きコマがあるので興味のある観光学について勉強しています。コーディネーターの方が、地域おこし協力隊や観光の会社のもとに連れて行ってくれてお話を聞いたりしています。休みの日も知床の海で釣りをするなど、今まで体験したことのない時間を楽しんでいます。

新しい発見の多かったイベントなどはありましたか？

知床の森づくりです。まだ、2回ほどしか参加できていないのですが、今まで森づくりというと植樹というイメージが強かったんです。しかし、実際には地産地消のルールがあるため邪魔になってしまう木を切ってウッドチップを敷いたり、鹿に木の皮を食べられないようにシートを巻いたり、森を守るための活動を行っています。道外からもたくさんの方がきて協力してくれています。

【留学生活1年ハイライト】

4月	—
5月	道東観光めぐり
6月	バスツアー
7月	学校祭、混合ゼミ、斜里ねぶた祭、知床の森づくり
8月	斜里神社祭
9月	スポーツ大会、知床世界遺産植樹祭

地域高2留学
体験談
4期生編
(現役留学生)

#4



吉澤 葵さん
在籍校
東京都立晴海総合高等学校
留学先校
北海道斜里高等学校

残りの留学期間でどんなことにチャレンジしてみたいですか？

東京の高校で課題研究というものがある、以前は興味があつかなかったのですが留学をきっかけにチャレンジしてみようと思っています。「地域おこし」をテーマに、都会で過ごしてきた私だから気づける斜里という街の魅力を少しでも伝えられるようなイベントやワークショップで活性化させられたら嬉しいですね。

「今しかできないことが、君を変えていく。」と感じられることはありましたか？

地方に来るといことは、大人になってからもできると思います。でも、高校生活の1年間という大切な時間を使うからこそ今しか出会えないクラスメイトや先生など新しいつながりがたくさん生まれました!

実際に体験したからこそ感じる「地域高2留学」の魅力とは？

高校生活の1年間を家族から離れて地方で過ごすということは、本当に人生にとって大きな価値になると感じています。いろんな視点に立って物事を考えたり、雄大な自然を見るだけで悩み事が薄れていったり、新しい友達や故郷が増えたり。なので、不安はもちろんありますが、少しでもやりたいという気持ちがあったらチャレンジしてみることを強くおすすめします!

10月	—
11月	見学旅行(台湾)、混合ゼミ
12月	—
1月	学習成果発表会(留学体験記)
2月	流氷ウォーク、スキー体験
3月	知床の森づくり

<p>北海道</p>  <p>01 ほろかない 幌加内高等学校</p>	<p>北海道</p>  <p>02 しゃり 斜里高等学校</p>	<p>北海道</p>  <p>03 おおぞら 大空高等学校</p>	<p>北海道</p>  <p>04 むかわ 鷗川高等学校</p>
<p>山形</p>  <p>05 おくに 小国高等学校</p>	<p>山形</p>  <p>06 ゆざ 遊佐高等学校</p>	<p>石川</p>  <p>07 のと 能登高等学校</p>	<p>三重</p>  <p>08 すばる 昴学園高等学校</p>

全国に広がる地域高2留学
留学先ご紹介

全19校



01 02 03 04 HOKKAIDO

05 06 TOHOKU

07 08 09 KINKI / HOKURIKU

10 11 12 13 14 15 CHUGOKU

16 SHIKOKU

17 18 19 KYUSHU

大阪



09 とよなか のせ
豊中高等学校 能勢分校

島根



10 だいとう
大東高等学校

島根



11 みとや
三刀屋高等学校

島根



12 しまねちゅうおう
島根中央高等学校

島根



13 おきどうぜん
隠岐島前高等学校

島根



14 おき
隠岐高等学校

広島



15 おおさきかいせい
大崎海星高等学校

高知



16 れいほく
嶺北高等学校

宮崎



17 いいの
飯野高等学校

宮崎



18 たかちほ
高千穂高等学校

鹿児島



19 さつまちゅうおう
薩摩中央高等学校

01 北海道幌加内高等学校

〒074-0495 北海道 雨竜郡幌加内町 字平和
TEL 0165-35-2405

#そば打ち #ワカサギ釣り #雪遊び #調理実習 #農業



日本語の通じる外国、
北海道幌加内高等学校

北海道の中でも超豪雪地帯として有名で、最高品質の雪質とウサギやキツネ、シカなど野生動物が現れる町でもあります。授業では幌加内産の蕎麦粉を使ったそば打ちの授業や、日本一大きな人造湖、朱鞠内湖(しゅまりないこ)でワカサギ釣りの授業など一風変わった授業が多く、農業高校の特徴を活かして学校や近隣の町に出向き、販売会などの授業も行われています。多くの生徒が寮で生活しており、様々なイベントが寮でも行われています。

留学にかかる費用
約620,000円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 授業料・寮費など
合計470,000円/年
学級費、通信費、手帳代、進路指導費、情報処理演習費と検定料、実習教材費(そば、食品)PTA入会費、農業クラブ入会金など
上記について4月にかかるお金があるため、月々にお支払いする金額が異なります。
- その他費用
修学旅行費:150,000円

募集学科・コース 農業科	募集人数 4名	住環境 寮	検査方法 書類検査・面接 (面接は現地での実施を原則とします)
-----------------	------------	----------	---------------------------------------

03 北海道大空高等学校

〒099-3211 北海道 網走郡大空町 東葉琴79番地4
TEL 0152-66-2061

#飛行機人 #地域探究 #マイプロジェクト #高校生カフェ #主体性



大空のもと
路を切り拓く飛行機人を育む。

高2では週3コマの「探究」の授業があり、地域をより良くする方法や課題解決に取り組みます。この「探究」を通して主体性・協働性・社会性・探究力を身に付け、社会でも必要な力を養います。大空高校ではこれら4つの力を持つ人のことを「飛行機人」と呼び、自分の路を切り拓き飛び立つサポートを行います。課外活動では高校生たちが主体となって「高校生カフェ」を運営するなど、やってみたいを実現することができます。寮は交流拠点施設内にあり、地域の方々との交流も盛んです。

留学にかかる費用
約827,080円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 寮(令和6年度実績)
入寮費15,000円/月(180,000円/年)
食費41,230円/月(412,300円/年)
寮振興会費4,000円/年
合計596,300円
※毎日3食食べた場合の年額です
※閉寮期間は除かれています
- その他費用(令和6年度実績)
校納金 37,800円
見学旅行旅費約180,000円
学級諸費 12,980円

募集学科・コース 総合学科	募集人数 2名	住環境 寮	検査方法 書類検査・面接 (面接は現地での実施を原則としますが、状況によってはオンラインとなる場合もあり)
------------------	------------	----------	---

02 北海道斜里高等学校

〒099-4116 北海道 斜里郡斜里町 文光町5番地1
TEL 0152-23-2145

#世界自然遺産知床で学ぶ #SDGs #流水
#知床に集まる大人達との交流 #オホーツクの漁業・農業



知床で学ぶ・体感する
1年間.....

豊かなオホーツクの海と世界自然遺産知床。その魅力を求めて多くの人々が斜里町に訪れます。関係・交流人口が生まれる町で、地域留学生在が様々な業種や国籍の方たちと出会う機会をサポートします。また、留学プログラムのメインである「知床の森づくり」では、自然を守る、森をつくる(公財)知床財団のメンバーと一緒に活動していきます。本校の、知床ならではの漁業や農業、観光業の素材を生かした学びは特別な体験となるでしょう。

留学にかかる費用
約690,000円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- ホームステイ
70,000円~80,000円/月
(助成後35,000円~40,000円)
※居住費の月額半額を斜里町が助成
※2食分と光熱費を居住費に含む
- その他費用
修学旅行費:約150,000円
PTA会費等クラス運営費:約65,000円

募集学科・コース 総合学科	募集人数 3名	住環境 女子 ホームステイ 男子 ペンション下宿	検査方法 書類審査・面接 (面接は現地での実施を原則とします)
------------------	------------	--------------------------------	---------------------------------------

04 北海道鷗川高等学校

〒054-0032 北海道 勇払郡むかわ町 福住4丁目2番地1
TEL 0145-42-2085

#むかわ学 #チャレンジスタディ #少人数で和気あいあい
#ゼロからスタート #地域に密着



可能性“鷗”限大∞

「鷗川」は「むかわ」と読みます。町を流れる清流の名前が、町の名前です。そんな「むかわ町」にある「鷗川高校」では、探究学習「むかわ学」や長期インターンシップ「デュアルシステム」を通じて、地域との交流を活発に行っています。放課後は、部活動に真剣に取り組むのもよし、アルバイトで社会経験を積むのもよし、公営塾(無料)で勉強を頑張るのもよし... あなたのやりたいことを鷗川高校は全力で応援します!

留学にかかる費用
約600,000円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 寮
440,000円~600,000円/年
(食費・水道光熱費含む)
- 公営住宅
公営住宅:住居費無料
(食費・水道光熱費は自己負担)

募集学科・コース 普通科	募集人数 2名	住環境 寮、公営住宅	検査方法 書類検査・面接 (状況によってはオンライン面接)
-----------------	------------	---------------	-------------------------------------

05 **山形県立小国高等学校**
〒999-1352 山形県 西置賜郡小国町 大字岩井沢621
TEL 0238-62-2054

#白い森未来探究学 #小規模校サミット #山 #雪 #マタギ



挑め、ともに！
「やってみたい」をみつけよう

山形県小国町には広大なブナの森と「なりたい自分を発見する・なりたい自分になれる」学びの土壌が広がっています。この土壌が「主体性」「挑戦心」「協働性」を育みます。豊かな地域文化に浸り、魅力的な地域の方々との対話を通して、自分の可能性を発見・表現していきましょう。町全体が、ともに挑める学びの場です。友達や先生だけでなく地域の大人も巻き込みながら！さあ、一緒に挑戦しませんか？

留学にかかる費用 約740,000円
※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 寮 45,000円/月 (住居費、食費(土日含む) 光熱費、Wi-Fi込)
- その他費用 200,000円程度 (研修旅行がアメリカの場合)

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科	2名程度	寮またはホームステイ	書類検査・面接

06 **山形県立遊佐高等学校**
〒999-8301 山形県 飽海郡遊佐町 遊佐字堅田21-1
TEL 0234-72-3423

#古民家シェアハウスと個室 #仲間が見つかる #ハンパない受容感 #帰って来たい居場所になる



遊ばざるもの 学ぶべからず！

「遊」という漢字が全国の市町村で唯一入っている遊佐町(ゆざまち)。皆さんを迎え入れる町のオトナたちや先輩は、遊び心を持つことと面白がることを大切にしています。遊佐高校では、はじめの6ヶ月間は週に1回学校に通わずに、朝から町の企業へインターンシップに行く授業があります。国数英などの一般的な授業だけでなく、働く上で大切なコミュニケーションスキルや価値観、作法などを遊佐高校では学ぶことができます。学校の枠を超えて他世代の憧れの存在や仲間と出逢いましょう！

留学にかかる費用 約500,000円
※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 寮 25,000円/月 (光熱水費、食費込み、お弁当注文は別途実費精算)
- その他費用 研修旅行:約100,000円 年次諸経費:30,000円(令和5年度実績)

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
総合学科	2名以内	寮 (相部屋又は個室)	書類審査・面接 (オンライン)

09 **大阪府立豊中高等学校 能勢分校**
〒563-0122 大阪府 豊能郡能勢町 上田尻580
TEL 072-737-0666

#地域学習 #里山体験 #グローバル #産業に触れる



地域の課題をグローバルな視野で考える

能勢分校は、「地域とともに」、「地域のために」課題を掘り下げ、生徒が自分の答えを出す課題探究授業に力を入れています。また、小規模校でありながら毎年世界各国から海外留学生を受け入れるなど文化の多様性を学ぶことができる学校でもあります。町の暮らし・文化・地域産業を学ぶ体験プログラムに参加しながら、あなたも多様な生徒と共に地域課題を考えるグローバルスタディに参加してみませんか。

留学にかかる費用 約990,000円
※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 寮 ①下宿 約70,000円/月(光熱費、食費含む) ※長期休暇中の食費は別途、特定期間における冷暖房費は別途 ②1人暮らし 約50,000～60,000円/月(実費/月) 光熱費・実費 食費:実費
- その他費用 約150,000円/年 PTA会費、生徒会費、PTA教育後援基金費、学年費、研修旅行費などの合計

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
総合学科	1名	下宿もしくは1人暮らし	書類審査・面接 (面接は現地での実施を原則とします)

10 **島根県立大東高等学校**
〒699-1251 島根県 雲南市大東町 大東637
TEL 0854-43-2511

#スペシャルチャレンジ留学 #自分の可能性を拓く #自分と地域の未来を紡ぐ



チャレンジが連鎖する 雲南でマイテーマを深める！

緑豊かな島根県雲南市大東町にある、創立から100年以上の歴史をもつ伝統校です。「雲南式探究」では、「地域パートナー」をチームに迎え、共に活動を考え取り組みます。大東地区の中心部には伝統の「七夕祭り」などの賑わいが残り、山あいの集落には棚田100選にもなっている日本の原風景が色濃く見られ、初夏にはホタルが飛び交います。高校生の「やってみたい！」を歓迎する人々との出会いが、大東高校生を応援しています。

留学にかかる費用 約750,000円
※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 下宿 住居費:50,000円程度/月 ※食事込み
- 共同下宿 住居費:48,500円程度/月
- その他費用 沖縄研修費:約150,000円

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科	1名程度	下宿または共同下宿	書類審査・面接

07 **石川県立能登高等学校**
〒927-0433 石川県 鳳珠郡能登町 宇出津マ字106番地7
TEL 0768-62-0544

#世界農業遺産 #里山里海 #自分の未来を「デザイン」 #専門性の高い学科が充実 #地域と密着した課題解決型学習



君だけの花を咲かせる場所

能登町は能登半島に包み込まれた内海に位置する小さな町です。世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」、日本遺産に認定された「能登のキリコ祭り」など、世界に誇れる自然・文化・伝統があります。これらに加え、古くから能登を表すときには「能登はやさしや土までも」という言葉が使われるように、地域の人たちは素朴で温かいのが魅力です。授業や課外活動でも地域と繋がる場面が多いため、能登町を第二の故郷として感じてもらえることでしょう。

留学にかかる費用 約584,000円
※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 寮 34,000円/月(住居費、食費、光熱費含む) ※食費は8月を除く11カ月徴収 ※別途希望に応じて 土日祝日の朝夕食費950円/日
- その他費用 学校諸会費:約80,000円/年 研修旅行費用:約130,000円

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
地域産業科(水産選択・農業選択・ビジネスコース)、普通科	最大3名	寮	書類検査・面接

08 **三重県立昂学園高等学校**
〒519-2593 三重県 多気郡大台町 茂原48番地
TEL 0598-76-0040

#きらら寮 #150人の大家族 #新しい自分に出会える町



新たな自分探しの1年間！

県内外から集まった約150名の友が、集団生活を送っている寮。そこは多様な色彩あふれる場所です。普段の生活や寮パーティーなどの行事を通して「自律する力」「個性を大切に」「忍耐力」「他者への思いやり」を学びます。これらは集団生活を体験したからこそ学べることです。日々の生活の中で、人との距離感や接し方など様々なことに気づき、時には悩み、戸惑いながらも一つ一つを乗り越えて、一人一人がたくましく成長します。

留学にかかる費用 約868,000円
※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 寮 住居費:46,500円/月 (R7年度からは、5,000円～10,000円の値上げを予定しています) ※食費(土日祝も3食付)光熱費を含む 閉寮時泊泊費:1泊5,000円 ※閉寮時は帰省又は保証人宅に 宿泊のどちらかを選択可能 ※町から10泊分の補助あり
- その他費用 学校諸費:約160,000円 ※学年会計など

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
総合学科	4名	寮	書類検査・面接

11 **島根県立三刀屋高等学校**
〒690-2404 島根県 雲南市三刀屋町 三刀屋912-2
TEL 0854-45-2721

#日本一チャレンジにやさしいまち #キャリア教育優良学校 #社会に開かれた教育課程



地域が本気で応援する スペシャルチャレンジ留学

桜並木が美しい三刀屋川を眺め、昔ながらの街並みの中にたたずむ総合学科の学校です。総合学科特有の多様な選択科目により、個々の希望進路の実現を果たしています。地域の人とともに探究する「雲南式探究」などの探究プログラムや、数が豊富で多様な部活動。さらには主体的に挑戦する「スペシャルチャレンジ Jr.プログラム」など、地元雲南市を舞台に、生き生きとした人々と出会い、自分の可能性を伸ばすことができる環境が、三刀屋高校には整っています。

留学にかかる費用 約747,000円
※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 寮 48,500円程度/月(補助による減額有り) ※住居費・食費・光熱費込み
- その他費用 東京研修旅行費:165,000円

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
総合学科	1名程度	寮	書類審査・面接

12 **島根県立島根中央高等学校**
〒696-0001 島根県 邑智郡川本町 川本222番地
TEL 0855-72-0355

#明日への扉を開く探究 #ふるさと学 #まちごとキャンパス学習



変わっていく、変えていく。

島根中央高校には、「こんな自分を目指したい」という夢を実現するために、授業や部活動、個人探究に全力で取り組む生徒と教職員がいます。そして、それを全力で支えてくれる地域があります。多様な生徒と大人、そして、学校と地域が一体となり「自立・共生・挑戦」の力を育む島根中央高校で「今」と「未来」に挑戦しましょう。

留学にかかる費用 約601,600円～706,500円
※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 寮 男子41,000～44,000円/月+1/3月(入寮費) 女子41,000～49,500円/月+1/3月(入寮費) (土日含む1日3食、光熱費含む)
- その他費用 学校生活に必要な諸経費8,000円程度/月 (遠足等行事、模試、エアコン計等)

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科	2名	寮 女子4名一室 男子4～6名一室 または個室	書類審査・面接 (面接は現地での実施を原則とします)

13 島根県立隠岐島前高等学校 

〒684-0404 島根県 隠岐郡海士町 福井1403
TEL 08514-2-0731

#島まるごと学校 #本気で挑戦する大人たち #多文化協働の寮生活




失敗を共に称え合う
学校・地域

この地域を言い表す言葉に「ないものはない」という言葉があります。たしかにコンビニも映画館もおしゃれなカフェありません。しかし地域には都会では失われてしまった「豊かな人間関係」や「継承されてきた伝統文化」、そして「不便さ」が残されています。「なければみんなで作ればいい」。そこに創造性が育まれる余白があります。

留学にかかる費用
約900,000円
※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 寮 居住費:47,000円/月
- その他費用 諸経費:140,000円程度/年 研修旅行費:180,000円程度

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科	1名程度	寮	書類検査・面接

14 島根県立隠岐高等学校 

〒685-0006 島根県 隠岐郡隠岐の島町 有木尼寺原1
TEL 08512-2-1181

#島親 #ジオパーク #探究 #チャレンジ #越境




島親からつながる
「めんどくさい」が面白い

オンリーワンだけの隠岐の島の素材を使って、自ら企画し学校の先生や生徒・地域住民と一緒にプロジェクトを起こすチャレンジいっぱい1年間。関西研修旅行では、有名大学や世界で活躍する企業での発表会も体験できます。島独特の文化をもつ優しい島親との休日の島生活は充実しており、今まで経験したことのない日常を味わえることでしょう。

留学にかかる費用
約796,000円
※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 寮 384,000円/年 (住所を隠岐の島町へ移した場合)
- その他費用 諸会費:約100,000円 島親費:約288,000円 (1食800円、1泊2,000円)

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科	2名程度	寮+島親宅	書類審査・面接 (プレゼンテーションを含む) ※新型コロナウイルス感染状況によってはオンライン

17 宮崎県立飯野高等学校 

〒889-4301 宮崎県 えびの市 原田3068番地
TEL 0984-33-0300

#未来を担うグローバルヒーローの育成 #自分のワクワクを創る学び #温もりあるえびのの人たち




探究先進校で走り抜ける1年!

#地域全体で学べる宮崎県えびの市 来校する地域の先生(外部講師)は年間100人以上。毎日のように高校の先生以外の大人が学校にいます。もちろん高校外で活動するときも飯野高校生を強力にサポートしてくれる学びの土壌があるのが宮崎県えびの市です。飯野高校生が地域を教材に、社会課題や関心あることをテーマにした活動を、温もりあふれるえびのの人たちが応援してくれます。

留学にかかる費用
約830,000円
※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 寮 約60,000円/月
- その他費用 学費:約110,000円 (学校納入費47,000円程度 教科書代12,000円程度 副教材費 45,000~50,000円程度)

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科 生活文化科	あわせて 最大5名程度	寮	書類検査・オンライン面接

18 宮崎県立高千穂高等学校 

〒882-1101 宮崎県 西臼杵郡高千穂町 大字三田井1234番地
TEL 0982-72-3111

#世界農業遺産 #年間140万人が目指す絶景 #神話と伝説のまち




ここでの経験が、
あなたの未来を創る

高千穂は国内外から年間100万人以上が訪れる九州有数の観光地。世界農業遺産等の国際認証も獲得するなど、自然豊かな町です。まちの大人と話せる機会も多く、地域に密着した活動ができます。世界から認められたまちにある高千穂高校で、あなたの「挑戦の種」を一緒に見つけませんか?

留学にかかる費用
約560,200円(寮の場合)
約995,000円(下宿の場合)
※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 寮 33,600円/月 ※別途入寮費2,000円を4月に徴収。
- 下宿 70,000円/月 ※光熱水費、2食(朝・夕)の食費を含む。休日の食事は受け入れ家庭による。
- その他費用 修学旅行費:95,000円/年 学校納入金等:60,000円/年

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科普通コース 普通科特進コース	2名	寮/下宿	書類審査・面接 (面接は現地での実施を原則とします)

15 広島県立大崎海星高等学校 

〒725-0301 広島県 豊田郡大崎上島町 中野3989-1
TEL 0846-64-3535

#大崎上島学 #瀬戸内×青春 #やってみたくて実現できる #輝志海星




やってみたくて
実現できる愛ランド 大崎上島

大崎海星高校では、地域を題材にしてリアルな学べる課題発見・解決型のキャリア教育である大崎上島学を行っています。地域にある課題を発見し解決することで、自ら社会をよりよくできると実感できます。教職員や魅力化スタッフだけでなく、地域の方々もサポートし、生徒がやりたいと思ったことを体験することで、様々な価値観を学ぶことができます。

留学にかかる費用
約900,000円
※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 下宿 寮舎:40,000円/月・食費15,000円 下宿:30,000円/月・共益費7,000円・食費と電気代は実費
- その他費用 教材費:20,000円 諸費:61,000円 修学旅行:150,000円

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科	1名	下宿	書類検査・面接 (オンラインの予定)

16 高知県立嶺北高等学校 

〒781-3601 高知県 長岡郡本山町 本山727
TEL 0887-76-2074

#自分でつくる寮生活 #清流徒歩0分 #マイプロ #地域探究




水と大地の学び舎

「地域ってなんだ??」
高校のある本山町は人口3,500人の小さな町。そんな町だからこそ、この地域では全員が「主人公」。あなたの存在で、この町の未来だって変えられるかも? ワタシがつくるから、いつだってオモシロイ。そんな「ワタシ」を支える、「仲間」が「オトナ」が「自然」が、この場所の何よりの魅力です。「やってみたくてある!!」「やりたいことを見つけたい!!」そんなあなたにオススメの環境です!!

留学にかかる費用
約587,000円
※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 寮 寮費45,000円/月
- その他費用 学校給食費47,000円程度/年 その他教材費等

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科 (文系/理系/農業系/商業系より選択)	2名	寮	書類検査・面接 (面接は現地での実施を原則としますが、状況によってオンラインとなる場合もあり)

19 鹿児島県立薩摩中央高等学校 

〒895-1811 鹿児島県 薩摩郡さつま町 虎居1900番
TEL 0996-53-1207

#普通科で体験できる #農業 #工業 #福祉




地域資源豊かな町を
まるごとフィールドに!

人・自然・文化あふれる薩摩の地、さつま町。この町をまるごと学びのフィールドに、多様な地域人との交流・協働により、社会性や人間性、「生きる力」を育みます。また、普通科では「ちくりん学」(総合的な探究の時間)で地域課題の解決に取り組みます。総合選択科目では、普通教科(国・数・英)や農業・工業・商業・家庭の専門科目を個人の進路志望や興味・関心に合わせて選択することができます。

留学にかかる費用
約660,000円
※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

- 寮 住居費:50,000円 (町から10,000円/月助成) 食費・光熱費:住居費を含む 入居時:10,000円
- その他費用 修学旅行費:90,000円 学級費ほか:80,000円/年

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科	2名程度	寮	書類審査・面接

住んで、触れて、学ぶ。
地域高2留学
5期生募集開始!

1年 在籍高校
留学後の「なりた自分」をイメージ。留学前研修を通じて1年間の留学生活を計画しよう!

2年 地域留学先高校
新たな環境で留学生活スタート。充実した1年間とするため、自分のテーマに向き合おう!

3年 在籍高校
「なりた自分」を実現するための大きな一歩。地域留学の経験を活かし、主体的に自分の将来を切り拓こう!

VOICE

現役留学生に聞く

教えて！地域高2留学

なぜ地域留学をしようと思ったの？



今まで生まれ育った東京で同じ1年間を過ごすよりも、人との距離が近い地域で1年間を過ごすことで、新たな価値観が見つかり、将来の夢を見つめ直すきっかけになると思ったから。



今の環境を変えたい、もっと他の地域について知ってみたい！そして自身のスキルアップができると思って留学を希望しました。



自然の多い落ち着いた場所で暮らしてみたかったから。

ぶっちゃけ大変なことは？



高2から編入するため、新しい環境に馴染んでいくことです。ただ地域の人含めクラスの人みんなも優しいので、少しでも行きたい気持ちがあるなら、思い切ってチャレンジするべきだと思います！



1人暮らしで誰も起こしてくれる人がいないので、二度寝ができないこと。また、在籍校と留学先の高校のカリキュラムの違いがあり、1年生で学んだ科目を再履修しなければいけない科目があることや自学自習しなければいけない科目があること。

留学先に持って行って良かったものは？



町の体育館などで遊んだり、活動したりすることが多かったので室内用の運動靴！



地元と大きく気温が違い、同じ月でもとても寒かったので、ブランケットを持って行って良かったです！学校で足にかけています！



ポケットWi-Fiです！



推しのポスター、アイロン、ヘアアイロン、家の枕と布団と毛布、裁縫道具！

留学前に、やっておいたほうが良かったことある？



一人暮らしが始まるので、簡単な料理方法をマスターしておけば良かったと思います。ですが、なんとかなるだろう精神で知らない土地に飛び込んだら本当になんとかなって、実際今不自由なく生活できています！



留学理由を明確にしておくことと、小さな目標や課題設定をしてみたり、やりたいことや挑戦したいことをたくさん考えておくことです！あと地元の友だちともたくさん遊んでおくこと！

留学を考える後輩にメッセージを！



人と関わる楽しさや、地域や環境の違いの面白さ、その地域ならではの魅力や出会いがあります。ごく限られた人しか出来ない良い経験だと思うし、これからの人生に活かせることばかりだと思います！今のうちにたくさん経験をして、学んだことをぜひ自身の学びに活かしてほしいです！



高2留学は生まれ育った土地ではできないような体験を通して人生経験を広げてくれたり、新たな価値観と出会うことができたりと、自分自身の可能性を大きく広げてくれます。在籍校を離れて1年間国内留学するという決断には、カリキュラムの違いなど、様々な不安があると思います。しかし、高2という期間は人生で一度きりしかやらないので、高2留学という選択肢を一度でも検討した皆さんには後悔のない決断をしてほしいです。一歩踏み出した皆さんを応援しています！



留学は大きな決断だと思いますが、悩んでいるなら挑戦した方が後悔しないと思います！

Q&A

地域高2留学 Q&A



「地域高2留学」とはどのような事業ですか？



「地域高2留学」は、内閣府の「高校生の地域留学の推進のための高校魅力化支援事業*」として、2020年度にスタートしました。在籍する高校とは別の地域の高校で1学年を過ごす「地域高2留学生」に、その高校ならではの魅力的な高校生活を送っていただけるよう、地域・高校が一丸となってサポートします。株式会社読売広告社が、当事業の事務局を担っています。

*将来的な関係人口の創出・拡大を目指し、高等学校段階における「地域留学」を推進するため、全国から高校生が集まるような高等学校の魅力化に取り組みする地方公共団体を支援する事業です。



留学まで、何から始めれば良いですか？



留学説明会にご参加ください。当日参加が難しい場合は後日「地域高2留学」公式サイト上で公開する、アーカイブ動画をご活用ください。留学の検討を進める場合、メールにて事務局に連絡し、在籍校への相談を始めましょう。



留学中の費用はどうなりますか？



生徒は在籍校に在籍を続けるので、基本的には在籍校に授業料を納入することになります(海外留学に準じるなど、在籍校の規定によります)。留学先校では授業料は徴収しませんが、学級費や学年費、学校行事等への参加費、寮費や食費等の生活費(1ヶ月2~6万円程度)は負担することになります。他に、生徒会費、PTA会費など、学校だけでは決定できない費用もありますので、在籍校と留学先校それぞれに確認が必要です。



応募するための条件はありますか？



応募時に高校1年生であること(学年制ではない場合は、1年間の地域留学を経て在籍校に戻り1年を過ごして卒業すること)、生徒が留学先校で修得した単位を在籍校が卒業に必要な単位数に計算してもらえ(応募前に、在籍校と留学先校で留学可能である旨の確認が得られていること)、他、各留学先校が定める応募条件を満たしていること(公式サイト内「応募・検査要項」を参照)をご確認ください。



住む場所はどのように探すのですか？



各留学先校が、寮もしくは下宿先を確保します。(学校検索でご確認ください)



3年間で高校を卒業できますか？



教育課程や、卒業に必要な科目、単位数は学校ごとに異なりますので、在籍校の判断が必要となりますが、条件が整えば3年間で卒業することが可能です。



安心して学び、生活するためのサポート体制はありますか？



留学先校は、生徒数が少ない分、一人ひとりが主役になれる環境です。高校と地域を結ぶ「コーディネーター」を中心に、下宿先のご家族、寮の管理人さんなど、地域全体で生活面・メンタル面を見守ります。



留学決定までの流れはどうなりますか？



留学の検討を進める場合、在籍校の先生に留学を検討したい旨を伝え、メールにて事務局に連絡してください。在籍校の先生と一緒に、留学について、留学可能な学校について、検討しましょう。合同学校説明会や留学先校面談に参加し、「留学志望校」を決めてください。「現地訪問」で応募の意思を固めたら、在籍校より応募し、検査を受けることになります。



検査制度はどうなっていますか？併願は可能ですか？



公式サイト内「応募・検査要項」をご確認ください。第2志望まで併願は可能です。



留学を検討するにあたり、どこに問い合わせれば良いですか？



高2留学の全体の仕組みについては、「地域高2留学」公式サイトをご確認いただくか、メール(support@kouniryugaku.jp)にて事務局までご連絡ください。

お問い合わせは support@kouniryugaku.jp まで

FLOW

地域高2留学の流れ

01 生徒による連絡メールを送信

期間：6月～9月中旬をめぐり

留学の検討をされる生徒は「生徒連絡メール」を事務局へ送信します。同時に、在籍校の先生にも留学を検討したい旨を必ず伝えてもらい、「在籍校へのご案内」を渡します。事務局は、「生徒連絡メール」を受けて、在籍校に今後の流れをメールにて(必要に応じて電話)案内をいたします。

02 留学可能校を確認する

期間：6月～9月中旬をめぐり

在籍校と留学について話し合い、「留学可能校」を確認します。在籍校に案内した「在籍校向け資料一式」で留学先校で履修できる必修科目リストや応募条件などを確認し、「留学可能校」を絞り込みます。事務局は、在籍校に事務局宛の「在籍校連絡メール」で「留学可能校」を含め検討状況を連絡するように依頼します。

03 留学志望校を決める

期間：～9月下旬をめぐり

留学希望者は、「留学可能校」の中から、「留学志望校」を決めるための情報収集を行うために、公式サイトより各種資料やオンライン説明会をご確認ください。「留学志望校」を決めたら、在籍校の先生に報告してもらいます。在籍校の先生が留学先校に連絡をとりつつ、必修科目以外についても在籍校の先生が、留学先校に連絡をとり、留学の実現可否を確認していただきます。留学可になった場合、在籍校より、留学先校に現地訪問調整を依頼していただけます。

※各留学先校により現地訪問の対応や申し込み締切期日が異なるので注意が必要です。

04 現地訪問する

期間：各留学先校によって異なる

留学先校と日程調整し、現地訪問を行い、学校だけでなく、寮や下宿・ホームステイ先などの住居や食事についても確認していただけます。

05 応募する

期間：10/28(月)～11/8(金)

現地訪問をして、最終的に「留学志望校」への応募を決めたら、在籍校の先生に報告し、応募書類の準備を行います。2校まで出願可能で、書類が整ったら、在籍校より留学先校への応募書類を提出していただけます。

地域高2留学を検討する生徒の 在籍校関係者のみなさま

地域高2留学は、基本的には、留学する生徒が現在の在籍校に籍を残したまま、2年次に別の地域に留学し、3年次に在籍校に戻り卒業することを実現するための仕組みです(学校教育法施行規則第97条「学校間連携」を適用。なお、生徒・保護者が希望し、在籍校が認めれば、必ず「3年間で卒業することが前提で無ければ、留学することができない」ということではありません)。その実現のためには、在籍校と留学先校にて、事前に、評定・履修・費用・安全配慮などについて調整が必要ですので、生徒の希望や実情等に応じ、両校で調整を進めていただくようお願いします。

在籍校向け資料一式

- ① ガイドライン
- ② 在籍校ご検討の流れ
- ③ 応募・検査要項

応募書類

- ④ 留学志望理由書
- ⑤ 推薦書
- ⑥ 同意書

最終手続き書類

- ⑦ 確認書

仕組みに関する詳細情報や、応募検査要項を含む「在籍校向け資料一式」、「応募書類」は、「地域高2留学」公式サイトで公開しています。必要な資料等は公式サイトにてご確認ください。

「地域高2留学」公式サイト
<https://www.kouniryugaku.jp/>

